第180回 物質循環談話会

2016/8/9 火　16:30～　C棟13番教室

SPEAKER: 檜山 哲哉 先生　名古屋大学宇宙地球環境研究所

TOPIC: 北ユーラシアにおける夏季の大気水循環と総観場の経年変動

東シベリアのレナ川流域では2005年から2008年にかけて夏季降水量が多く，タイガ林に変化が生じました．このような数年にわたる夏季降水量の上昇が過去のレナ川流域にみられたのか，そして他の地域ではどうだったのかを調べるため，格子点降水量データ(PREC/L)と大気再解析データ(JRA55)を用いて夏季(6月から8月)の大気水循環と総観場の経年変動を解析しました．シベリア三大河川（レナ，エニセイ，オビ）流域とモンゴル周辺域の850hPaの高度場を比較したところ，シベリア三大河川流域には十年スケールの変動があり，モンゴル周辺域では顕著な長期変化傾向が見いだされました．また，1990年代半ば以降，レナ川とエニセイ川流域は北極海から伸びる大規模なトラフに覆われやすくなっていました．1980年代半ば以降にみられたモンゴル周辺域における850hPa高度場の有意な上昇は，エニセイ川とレナ川流域において，夏季に西方からの大気水蒸気フラックスとその収束量を増加させていることがわかりました．すなわち，北ユーラシアにおける十年スケールの総観場の変動と長期変化傾向が伴うことで，2005年から2008年にかけて，レナ川流域では夏季降水量が多くなったことがわかりました．

☆☆☆興味のある方はお気軽に御参加下さい☆☆☆

物質循環学科4年生，院生はセミナーの単位(必修)です